

小野町公園施設長寿命化計画【概要版】

- 対象公園
小野公園（運動公園・16.74ha）
- 計画期間
令和5年度～令和14年度（10年間）
※5年に1度更新

小野運動公園は、近隣町村を含む地域住民の健全な精神・身体を各種スポーツレクリエーション活動により高めるため、昭和61年度に多目的グラウンド、テニスコート、駐車場等を、平成元年に幹線園路と広場、休養、遊戯施設等をそれぞれ供用し、建設後37年が経過しており、今後、必要となる施設の更新・修繕費用の増大が懸念される。小野町公園施設長寿命化計画は、公園施設の老朽化に対する安全対策の強化と、将来の改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図ることを目的として、公園施設や遊具の健全度調査や判定結果等を基に策定したものである。本計画に基づき、施設の機能保全に支障となる劣化や損傷を未然に防止するための日常的な維持管理を行うとともに、従来の事後保全型管理に加えて、計画的な補修、更新を行う管理方法（予防保全型管理）を施設の特性に応じて採用する。

1. 長寿命化計画対象施設

レクリエーション需要に対応し、地域活性化の拠点、環境教育の場、環境保全・保護、景観の形成、健康増進、防災機能等さまざまな役割を果たし、これらの機能を安全かつ持続的に継続させ、町民が安全で安心して利用できるよう、運動公園1箇所（266施設）の長寿命化計画を策定した。

【対象施設の数】

園路 広場	修景 施設	休養 施設	遊戯 施設	運動 施設	教養 施設	便益 施設	管理 施設	災害応急対 策施設	その他	合計
15	—	54	21	49	7	19	101	—	—	266

2. 公園施設の点検調査結果

①健全度判定における評価基準

施設の調査結果から判断した健全状況のレベルを総合的に判断し、施設の補修、更新等の必要性の有無などから4段階のランク付けを行っている。

②健全度を把握するための点検調査結果の概要

小野運動公園の公園施設長寿命化計画対象施設のうち、健全度が低いとされるランクC、Dと判定された施設は、全体の1割を超えており、特に、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるD判定の施設も4施設あった。

ランク	評価基準	調査結果 (該当施設数)	施設例
A	・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理するもの。	73施設	平均台（遊具）、ベンチ、 屋外ゲートボール場、公園灯 外
B	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要なもの。	152施設	ナイター照明、四阿、健康遊具、 分電盤、屋外トイレ 外
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要なもの。	37施設	野球場バックスクリーン、野球場 スコアボード、町民体育館、 海洋センター 外
D	・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要とされるもの。	4施設	複合遊具、案内板

3. 維持管理の基本的方針及び公園施設長寿命化の基本方針

①日常的な維持管理に関する基本的方針

- ・日常点検は、町担当職員（又は町委託業者）が、巡回時または適宜実施し目視により施設の異常の有無を確認。但し遊具施設は、原則1ヶ月に1回以上目視により施設の異常の有無を確認。
- ・定期点検は、町担当職員（又は町委託業者）が、遊具施設、建築物を原則1年に1回、目視、触診、打揺診、器具による計測等により劣化状況を確認。
- ・各点検により異常が確認された場合は、必要に応じた使用禁止処置の実施。更に適切な修繕方法を検討し、早急な対策を実施。

②公園施設の長寿命化のための基本方針

- ・健全度C、Dの施設は、転落や負傷等の危険性の高いものとし、優先して改築、更新を実施する。
- ・健全度A、Bの施設は、日常的な維持管理に関する基本的方針に従って対策を実施、長寿命化を図る。

予防保全型管理		事後保全型管理	
施設の劣化や損傷の進行を未然に防止し長持ちさせることを目的に、計画的な手入れを行うよう管理する方法		施設の日常的な維持管理や点検を行い、施設の機能が果たせなくなった段階で取り換えるよう管理する方法	
更新（健全度調査・判定の結果に基づき判断）		更新	
補修（健全度調査・判定の結果に基づき判断）		（日常・定期点検で劣化や損傷の進行に応じて撤去・更新を判断）	
日常点検	定期点検	日常点検	定期点検
維持保全 (清掃・保守・修繕など公園施設の日常的な維持管理内容が該当)		維持保全 (清掃・保守・修繕など公園施設の日常的な維持管理内容が該当)	
主な施設： 遊戯施設、 運動施設、 園路、便所、 四阿等		主な施設： ベンチ、 屋外卓、 水飲場、 案内板、 車止め等	

4. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

①長寿命化と健全度の維持

②更新・補修費の平準化

③更新・補修費（コスト）の縮減

長寿命化対策により、公園利用者の安全性の確保、公園施設の予防保全的管理による適切な修繕計画、その修繕費用の平準化により、令和15年までに毎年8,621千円のライフサイクルコスト縮減効果が得られる。